

球磨村 おがわ瓦版

老人会も復興に一役

地域学校協働本部（上野勝則本部長）は、11月21日（土）渡小学校内のゴミ搬出等を行なった。

作業は、コミュニティスクール、PTA、渡小教職員、一般社団法人・オープンジャパン、老人会ら約70人が参加しそれぞれに分担して行った。10月にオープンジャンパンの支援で校内に散乱したゴミの片づけや運動場に堆積した土砂撤去作業を行っており、そのゴミの分別と搬送をした。

老人会は豪雨災害で運動場のフェンスに詰まったがれきやごみを取り除いたり、花壇に堆積した土砂の撤去などの作業に汗を流した。

今回は、球磨村老人会（東研志会長）のニコニコ会、みどり会、鏡山長寿会の会員も、少しでも力になればと参加。球磨村老人会としては、今年度初めての活動になった。

上野勝則本部長は「みんなの力で、多くのことを小さな負担で、少しずつでも復興につながっていったら」と話した。



みんなの力で少しずつ

令和2年12月15日
編集発行 宮原 修
090-9585-8894

花を咲かせて地域を明るく！

★11月28日（土）先週、堆積した土砂を取り除いた渡小学校庭花壇に、比較的被害の少なかった小川地区や近隣地域の人たち10人と地域学校協働本部の上野勝則本部長、森佳寛教育長、犬童裕美渡小学校長、井口秀明同教頭も参加し、花壇中央にチューリップの球根植付け、周りにパンジーやサフラン、ビオラなどの花を植えた。

チューリップの球根はボランティア団体「QOG」より、花は神瀬ボランティア団体「かわせみ・やませみ」（代表 伊高綾香さん）より提供された。

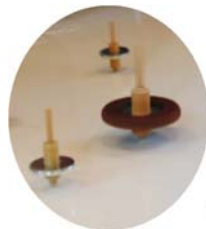


チューリップの花が咲く頃は、地域も学校も明るく！

第2回くまむらっ子夢広場

球磨村教育委員会は、11月29日（日）午後より村多目的広場仮設団地集會場で、渡小学校運営協議会委員の立野満義さんを講師に回転コマ作りをした。

夢広場には、子どもや保護者ら20人が参加し、森佳寛教育長も一緒になって回転コマ作りに挑戦。立野さんは一人一人に分かりやすく丁寧に教えていた。



回転コマは竹と金属を組み合わせた回転し続ける不思議な回転コマで、盤上で2分近く回す子どももいた。

参加した親子は「コマの芯を細かくするところや金具をはめたりするところがむずかしかったけど楽しかった」「子供と楽しい時間を過ごせました」など、自作のコマを何度も回して楽しい時間を過ごした。

自作のコマを回して競う子供たち



復興に向けて頑張る！

髪のアトリエあきよし

渡地下地区の国道219線沿いに、今年7月で18年目を迎えた理容業の佐々木章好さん(45)の家屋も7月豪雨で2階天井(約6メートル)まで浸水した。

渡地区では「理容あきよし」とコンビニの2店舗のみ。店舗兼住居だったが、8月19日に仮設店舗にて再開した。今後は店舗のみ今までの場所で営業。住居は未定。

仮設に住む佐々木さんは「おかげさまでお客様も少しずつ戻ってきていただいている。頑張るしかない」と語った。



被災にあった「理容あきよし」の全景

「さんがうら山ウォーク」 村の復興の後押しに

11月22日(日)『たまにはゆつくりと三ヶ浦の集落をあるいてみませんか?』と「さんがうら山ウォーク」が田舎の体験交流館さんがうらが主催。球磨村公民館第5分館の運営委員で開催された。

実行委員長の榎木啓介さんが「コロナ禍、7月の豪雨災害の復旧復興の中、さんがうらも何か後押しできないかと企画しました。鶉口観音はじめたくさんの文化財を巡りながら、魅力を発見し楽しんでください。村内外に発信して村づくりと活性化につながると思いますが」とあいさつ。

里山ウォークには地域の人たちや球磨村文化協会サークル「山野草の会」会員を含む33人が参加した。ショートコース(4.5km)とロングコース(11.2km)を、マイクロバスで球磨村唯一の相良三十三観音・鶉口観音まで移動してスタートした。



山間を散策する参加者

さんがうらにゴールした参加者は、実行委員スタッフで準備された地産の昼食に舌鼓、疲れを癒し、心地良い汗で三ヶ浦の里山ウォークを満喫した。参加した橋詰兵士郎さんは「被災後は、気がめいって精神的にも疲れていた。気放しに参加して、みんなの元気な姿を見て安心した」と散策を楽しんだ。



美味しい昼食で疲れを癒す

銀色に輝くトレーラーハウスで再スタート ドライブイン味里 (ajisato★)

渡馬場地区の国道219線沿いで、絶景のスポットと村内外から多くの人で人気を集めていたドライブイン味里。7月豪雨で跡形もなく流された。

11月28日、国道219線沿いの人吉市下原田町に銀色に輝くトレーラーハウス(全長12m)が、アメリカから輸送されてきた。

瀬河克俊さん(38)、のぞみさん(36)夫婦は「テイクアウトをしながら来年の春までには完全オープンできれば」と再開に向けて、着々と準備を進めている。



誰でも気軽に立ち寄れる店を目指して!

球磨弁! パート29

わかるかな?

- あぎやー|| あんなに
- こぎやー|| こんなに
- そぎやー|| そんなに
- なんでうちや|| なんでも
- なんさま|| とにかく
- じゃなか|| そうではない
- めしんしゃー|| ご飯のおかず



思いのままに...

球磨村も少しずつ復興に向かう中、球磨村老人会も動き出した。今年度になって初の活動になった渡小学校での清掃ボランティア活動に参加した。汗をかき、何だか清々しい気持ちになった。コロナ禍、豪雨災害で何もかもできなくなると悶々としている人は多い。村内を回っていると「人が恋しくなった」「早く帰りたい」「もう帰りたくない」「村の情報が伝わって来ない」「来年の梅雨の時期が怖い」などと住民の心境はさまざま。仮住まいしている錦町で、散歩中にランドゴルフを楽しんでいる人たちを見るとつい羨ましく思った。私はまだいい方だと思う。いつかは帰る家があるから。全く先が見えない住民も多々いる。心中を察すると、とても胸が痛む。(宮)

ただいまだけ
あなたがそこに
ただいまだけ
その場の空気感が
あがるくなる
あなたがそこに
ただいまだけ
みんなのこころが
やすらぐ
そんな
あなたがわたしも
なりたいたい
みつを

